

つきたい力

- ・自ら課題を設定して取り組む力
- ・正しく情報を活用する力
- ・自分の考えをまとめ、伝える力

取組みの概要・ポイント

- ・思考力・判断力・表現力の育成につながる読解力の向上
- ・読解力向上の取組みを軸に、「根拠を明確にして考えを構築する」
- ・学校図書館の活用と図書委員会の活動で、学校全体で「読書の芽」を育てる

学校の取組み



「ITO」 Input (認識) → Think (思考) → Output (表現) を意識した授業 × 学校図書館

語彙の確実な習得



1年国語科「私のタンポポ研究」
 お互いの意見をふまえ、相違点に対して根拠を持って話し合う。

文章構成をとらえる
 →他教科の学びへ

読解力向上の取組み



視写

意味のあるまとまりをとらえる
 学習語彙の定着

図書委員会による読書推進



朝読・ブックトーク・平和読書・巡回文庫
 文化発表会での展示・おすすめ本コーナー

使える「ことば」にするために—各教科のつきたい力につながる魅力的な言語活動の設定

Input

Think

Output

3年国語科
 「絶滅の意味」課題設定（問いをつくる）
 とレポート（考えの形成）で図書を活用



単元はじめに
 言語活動の
 ゴールを提示

3年理科「茨木市に適した発電所について考えよう」
 収集した事実を整理・分析し、考えを形成



3年英語科
 自分の将来や夢などについて考え、
 調べた職業について目的に応じた形で説明・発表



目的に応じて必要な情報を見つけ、それらを活用しながら、自分の考えを表現する。

教科の学習内容×言語能力でつながる教科横断的な学習



1年生の作品「本のPOP」と本をセットで展示

過去の成果物と本をセットにして
 学習する時期に合わせて、
 図書室に配架

過去の成果物を
 言語活動のモデルに



取組みを通しての子どもの変容

- ・学校図書館やICTを活用することで、対話が生まれ、交流することを通して、視野が広がり、考えを深めることができた。
- ・「なぜ課題に取り組むのか」「学びが何につながるのか」を授業者が大切にすることで、生徒自身も学びのつながりを意識できるようになっている。

アンケート項目

	4月	12月
授業では、学習課題の解決や目標の達成にむけて、自らすすんで考え、取り組んでいる。	83.8%	87.0%
学級の友だちとの考えの交流では、新たな考えや疑問をもつことができる。	85.8%	90.0%
授業で学んだことを、次の学習や他の教科の学習で役立てている。	79.5%	84.8%
話のつながりを意識し、大事なことを考えて、読んだり聞いたりしている。	78.1%	80.6%
自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して、伝え方を工夫している。	84.1%	86.2%